

第2回 マーケティング分野

お申込みは
こちらから



営業における DX改革!

2021年 **10月15日**(金)

 **18:00~19:30**

Zoom (リアルタイム配信)

タイムスケジュール

18:00~18:40 講演 1

18:40~19:20 講演 2

19:20~19:30 まとめ

マーケティング分野では営業マンによる意思決定に加えて、データサイエンスによる意思決定が重要となってきた。顧客および購買履歴情報による属性・履歴データを用いた分析を行うことにより、潜在ニーズを掘り起こすことが可能である。分析データの活用は、販売Web画面開発から、商品のレコメンデーション機能、ビッグデータを用いた店舗展開や都市開発計画に至るまで、マーケティング分野の多岐に渡っている。

データサイエンスによるマーケティングでは、データの収集・加工・蓄積および手法の中からの確かな分析手法を選ぶ必要があるが、目的や分析対象データごとに手法が異なるため、適用には、営業文化や営業プロセス等の見直し、システム投資などの様々なハードルがある。これらを打破するためには、データサイエンス理解し、要件定義するデザイン・シンカーの役割が重要である。

そのような方向けに本講座ではマーケティング分野でのDXの概要を論じ、神戸大学の研究例として、店舗設備レイアウト最適化、食サプライチェーン最適化などをご紹介します。企業側のデザイン・シンカーと大学側の研究者の産学連携によってこのハードルを越える道を模索したい。

第2回 マーケティング分野（営業におけるDX改革！）

講演情報

講演1 ビジネス・マーケティングにおけるDX概論



森村 文一 准教授

神戸大学大学院
経営学研究科

【講演概要】

近年では経営課題に合わせたAI・ビッグデータの分析パッケージサービスなどが次々に登場し、DXを導入しやすい環境が整いつつある。DXをマーケティング戦略の構築や人的資源の管理などに活かしている事例をいくつか取り上げながら、経営学の立場から、DX活用の意義や、DX導入によって成果につなげるための勘どころなどを解説する。

【講演者略歴】

2005年 立命館大学経済学部経済学科 卒業
2010年 神戸大学大学院経営学研究科 博士課程後期課程修了
2010年 神戸大学大学院経営学研究科 研究員
2011年 京都産業大学経営学部 助教
2014年 神戸大学大学院経営学研究科 准教授

講演2 システム情報学によるDX事例紹介



藤井 信忠 准教授

神戸大学大学院
システム情報学研究科

【講演概要】

製造業におけるものづくりの効率化・高付加価値化の経験をもとに、サービス業、農業、まちづくりなどを対象とするシステム情報学を礎としたDXアプローチを解説する。企業との共同研究の成果の中から、店舗設備レイアウト最適化、食サプライチェーン最適化、まちづくりへの適用など、最先端の事例を紹介する。

【講演者略歴】

1996年 神戸大学工学部 機械工学科 卒業
1998年 神戸大学大学院自然科学研究科機械工学専攻 博士前期課程 修了
1998年 日本学術振興会特別研究員（DC1）
2000年 神戸大学工学部機械工学科 助手
2002年 東京大学 人工物工学研究センター 助手
2004年 博士（工学）（東京大学）
2005年 東京大学人工物工学研究センター 客員助教授
2007年 神戸大学 大学院工学研究科 情報知能学専攻 准教授
2010年 神戸大学 大学院システム情報学研究科 システム科学専攻 准教授

申込・お問合せはこちらまで >>>

一般社団法人
デジタルトランスフォーメーション研究機構

Mail:office@ridx.jp

